

出席者：田原、金田、大北、中山、長野

オブザーバー：芹澤

1 コンテナについて

スペース確保等のため、下記のことを決定した。

- ・ストーブを処分し、ゴリラカートを田原倉庫へ移管する。
- ・古いレスキューボードを田原倉庫へ。必要最低限のボード数に減らせないか田原倉庫の整理も検討する。
- ・個人マリブを置くスペースを確保して三洋カップでのマリブ個人購入を斡旋したい。スキーはこれ以上不可。
- ・ボードカバーは自分のボードにかぶせるか、自分のボードの上に置く、あるいは個人で持ち帰る。
- ・現在のダイヤル錠は砂がかむため、従来の鍵式南京錠に戻す。鍵は理事 5 名が保持する。
- ・コンテナを新しくもう一つ置きたい。資金：来年度助成金、各方面調整・理解が必要。

2 NPO 法人化について

新宮ライフセービングクラブが永続していくための組織化の一環として NPO 法人の立ち上げを目指す。現状、新宮町役場との兼ね合い等があるため、2018 年 6 月末を目途に実現可能性について検討する。実現可能であれば、2019 年のシーズン前までに NPO 法人の立ち上げを目指す。

3 クラブホームページのクラブ員一覧について

個人情報保護等の目的から、全員を掲載していた従来の表示は廃止し、役員(理事・監事)のみの掲載とする。

4 各種ガード依頼について

虹の松原トライアスロンは、ベーシックの最終日と重なることや器材搬送・人員不足などから、今年度はお断りした。今年度はサーファー等で警備対応とのことで事故が不安。来年は協力できる体制を作っていくたい。

ふれあいの家海水浴は、現時点で打診はない。毎年結構ぎりぎりでの依頼なので、こちらから日程等について問い合わせしてみる。

5 パトロールについて

今年度は 6 月 30 日(土)開始で調整する。また、新宮のパトロールシステムを明文化していく。担当：長野。パトロール終了日は直前にならないとわからない。

6 定款第 3 条について

クラブの目的を定めた第 3 条の変更を検討する。クラブが目指す方向性を明文化する。文言は 1 年かけ、来年の総会での附議を目指す。

7 ニッパーボードの購入について

現予算では厳しい。購入を目指して新たに助成金申請を検討していく。使わない夏以外は田原倉庫へ保管可。担当：佐藤。

8 田原理事長のライフセーバーアワード受賞に向けて

新宮・九州の存在感アピールのためにも、田原理事長に LS アワードを受賞してもらいたい。JLA 事務局・広報室・九州ブロック等から推薦してもらえないか、タイミングを伺って提案してみる。

9 クラブ員以外のパトロール参加等について

保険の問題がある。他クラブ所属なのか、所属なしなのか等によっても異なるので、都度対応する。積極的に受け入れ、クラブへの勧誘の窓口にしたい。